

特急列車を活用した相互輸送(貨客混載)・販売の実証実験の実施について

2022年 11月 10日
株式会社伊予銀行
西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部岡山支社
株式会社ジェイアールサービスネット岡山
四国旅客鉄道株式会社
四国キヨスク株式会社

株式会社伊予銀行(代表取締役頭取 三好 賢治、以下「伊予銀行」と西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部岡山支社(理事中国統括本部岡山支社長 藤原 乗将、以下「JR西日本」)および四国旅客鉄道株式会社(代表取締役社長 西牧 世博、以下「JR四国」)は、株式会社ジェイアールサービスネット岡山(代表取締役社長 小林 卓、以下「SN岡山」)、四国キヨスク株式会社(代表取締役社長 寺川 隆裕、以下「四国キヨスク」と連携し、愛媛県産「早生(わせ)みかん」を岡山駅へ、岡山県産ぶどう「紫苑(しえん)」を松山駅へ特急列車で運ぶ、相互輸送(貨客混載)、相互販売の実証実験を実施いたしますので、以下のとおりお知らせいたします。

1 目的

- (1) 鉄道の定時性、速達性を活かした新たな価値の創出
- (2) 環境負荷の小さな鉄道による荷物輸送の取組み(モーダルシフト)の推進
- (3) 県域を越えて生産者と消費者を繋ぐことによる地域活性化への取組み

2 実施日 2022年 11月 17日(木)

3 スキーム

愛媛県宇和島産「早生みかん」を宇和島市の道の駅「きさいや広場(株式会社うわじま産業振興公社(代表取締役会長 岡原 文彰))」から岡山駅ナカ店舗「せとうち CUBE(SN岡山)」まで輸送し販売いたします。また、岡山県産ぶどう「紫苑」を株式会社岡山直売所ネットワーク(代表取締役社長 竹村 仁量)から松山駅構内店舗「キヨスク松山銘品館(四国キヨスク)」まで輸送し販売いたします。

なお、列車以外の輸送についてはヤマト運輸株式会社(代表取締役社長 長尾 裕)が、駅構内の輸送についてはSN岡山、JR四国、四国キヨスクが行います。

4 対象列車

(1) 愛媛県宇和島産「早生みかん」の輸送:

特急列車「宇和海10号」 宇和島駅発 9:55 発⇒松山駅11:20 着(松山駅にて保管後、載せ替え)

特急列車「しおかぜ18号」 松山駅発 12:21 発⇒岡山駅 15:11 着



(2) 岡山県産ぶどう「紫苑」の輸送:

特急列車「しおかぜ9号」 岡山駅発 11:35 発⇒松山駅 14:13 着



5 取組みの経緯と今後の展望

- (1) 伊予銀行が J R 四国及び J R 西日本に対して列車を活用した相互輸送(貨客混載)、相互販売の取組みを提案し、本実証実験の実現に至りました。四国では、今年 3 月に宇和島駅から松山駅(道後温泉)へ宇和島養殖マグロを輸送して以来、2 回目の実施となります。
- (2) 実証実験の実施・検証を踏まえ、更なる地域産品の相互輸送、相互販売について検討を行います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

